

札幌学院大学

コミュニティ・カレッジ

COMMUNITY COLLEGE

2021年度 後期講座のご案内

オンデマンド講座

1. 対人関係の心理学
佐野 友泰
2. 考古学から見た北東アジアの古代・中世
臼杵 勲
3. 発達障害のある人が抱える困難と可能性を考える
—〈だれもが生きやすい社会〉をめざして—
二通 諭 高井 賢二 山内 茜
北川 聡子 岩田 梨花 加藤 法子
金子 志
4. 地域でケアする認知症～他人事から自分事へ～
石田 潔 内田 香理
5. 外国人とやさしい日本語でコミュニケーション
二通 信子

6. NISA や iDeCo で学ぶ、生涯使える投資の
基礎知識
中谷 俊雄

Zoom オンライン講座

7. 震災復興と地域づくり
—子どもに焦点をあてた「未来づくり」の試み—
井上 大樹 小瀧 綾 井内 聖

主催 ◆ 札幌学院大学社会連携センター
後援 ◆ 北海道教育委員会・札幌市教育委員会
提携 ◆ 道民カレッジ・えべつ市民カレッジ

ごあいさつ

市民の皆様

日頃、コミュニティ・カレッジの活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、私どもの札幌学院大学の前身である札幌文科専門学院は、終戦の翌年1946年に、敗戦の混沌の中で戦場から帰還した若者たちによって創設されました。設立認可申請書には「北海道の自然と文化とが祖国再建の途上に占むべき重要性に鑑み北方文化の新指導者たるの任に当たり得べき人格と知能の育成を期すべくここに設立したるものなり」とあり、戦後の北海道の文化的な発展に貢献する人材の育成を目的に掲げていました。その後、札幌文科専門学院は札幌短期大学、札幌商科大学となり現在の札幌学院大学へと成長いたしました。平和で持続可能な社会の希求と地域の文化的発展の担い手となる人材の育成は学園の創設当初からの姿勢であり取り組みとすることができ、開学以来の伝統である社会人のための教育は、二部（夜間部）教育として、札幌商科大学の「商学部第二部」から現在の「地域社会マネジメント研究科」へと引き継がれています。一方、社会人向けの生涯学習としては、「コミュニティ・カレッジ」を開設し、今年で22年を迎えます。

少子高齢化と人口減少、グローバル化が進む中で、地域の再生に貢献することが大学の第3の役割とされています。また、人生100年時代に向けた文字通り生涯にわたって学びたいという方々のニーズに応えることも大学に期待されています。

本学はこうした時代の要請に応えるための新キャンパスを新札幌に今春からオープンし、新たな学びの創造に取り組んでおります。新札幌キャンパスのコンセプトは「多様なこと・ひと・もの（diversity）との協働（collaboration）」です。コミュニティ・カレッジも江別の本校から新札幌キャンパスに移転し、2021年度前期は新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにオンラインオンデマンド方式で実施いたしました。

2021年度後期も感染拡大の状況をふまえオンデマンド方式で実施いたします。

今期も多彩な講座をご用意しておりますので、皆さまの「学び」に役立つことを願っております。



新たな学びの創造スペース 1階社会連携センターホール

札幌学院大学社会連携センター長 佐野 友泰

オンラインオンデマンド方式で開催いたします



新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からリモート講座で実施致します。

受講方法等について2ページ（講座番号7「震災復興と地域づくり」は8ページ）に記載していますので、ご確認ください。

お申込みから受講までの流れについては9ページをご覧ください。

オンデマンド講座 受講方法

受講にあたり下記のシステム環境が必要です。各自で環境の準備と確認をお願いします。

1. パソコン、タブレット、スマートフォンなどの端末
2. インターネット環境

お申込みののち、お振込みの確認ができた方へ、講座視聴のためのIDとパスワードをお送りいたします。

IDとパスワードを講座視聴の次の画面に入力してご視聴ください。お申込みの講座ごとにIDとパスワードは異なります。

ログイン

https://xxxxxxxxxxxx

ユーザー名

パスワード

ログイン キャンセル

オンデマンド講座は、配信期間中、何度でもご視聴いただけます。

パソコン、タブレット、スマートフォンでの視聴ができますが、パソコンまたはタブレットでの視聴を推奨します。講座資料がある場合はサイトに添付します。講座視聴以外の目的には使用しないでください。

講座視聴ページ「コミュニティ・カレッジ オンデマンド講座」

https://www.sgu.ac.jp/renkei_c/online-seminar.html



※注意事項

第三者とのID・パスワードの共有や貸与、SNSを含む他の媒体への転載、また、講座で配布した資料を受講目的以外で使用する場合は、不法行為や著作権の侵害になりますので固くお断りいたします。講座の録音、写真撮影、動画撮影、画面の録画は固くお断りいたします。

講座を受講するにあたり、自己の費用と責任で必要となるパソコンなどの情報端末、インターネット回線、その他設備を用意するものとします。

利用者のインターネット回線の状況、情報端末の環境、その他予期せぬ理由により、コンテンツの中断、速度低下、障害、停止もしくは視聴不可などの事態が発生した場合、これによって利用者に生じた損害について本学は一切責任を負いません。

オンデマンド講座

講座番号

1

対人関係の心理学

配信期間／11月15日～2022年2月28日

受講料／1,000円(全1回)

私達が生活を送るうえで、最も悩むことの一つが対人関係のストレスだと考えます。

この講座では、1回ですが、様々な対人関係の問題について心理学の立場よりアプローチします。

回	テーマ	内容
1	対人関係の心理学	私達がであろう様々な対人関係の問題についてできるだけ具体的にお話しします。

講師／札幌学院大学心理学部教授 佐野 友泰

講師紹介

佐野 友泰(さの ともやす) 1973年東京都生まれ。明星大学大学院心理学専攻博士課程満期退学。博士(心理学)、公認心理師・臨床心理士。芸術療法の国際比較、コミュニケーション力のトレーニング、大学生の学校適応について研究している。

講座番号

2

考古学から見た北東アジアの古代・中世

配信期間／11月15日～2022年2月28日

受講料／3,000円(全3回)

道内各地で近年出土した遺物の検討と、ロシア・モンゴル等における調査・研究の成果から、北海道を含む北東アジアの古代・中世の歴史を解説します。

回	テーマ	内容
1	新出土品が語る北海道の古代・中世	近年の道内の出土品により、新たに見えてきた古代・中世の北海道の様相を解説します。
2	北東アジアの中世城郭	日本海沿岸地域(ロシア極東・中国東北部)に分布する中世城郭を紹介し、それらの歴史的意義や周辺の城郭との比較などを解説します。
3	古代遊牧国家の実態に迫る	最初の遊牧国家とされる匈奴に関連する、モンゴル・ロシアでの遺跡の調査・研究を紹介し、その実像について解説します。

講師／札幌学院大学人文学部教授 白杵 勲

講師紹介

白杵 勲(うすき いさお) 札幌学院大学人文学部教授 1959年2月9日生。筑波大学大学院博士課程単位取得退学。博士(歴史学)。1992～2000年奈良国立文化財研究所研究員。2000～2002年文化庁記念物課文化財調査官。2002年札幌学院大学人文学部に着任。著書『鉄器時代の東北アジア』同成社 『東アジアの中世城郭 女真の山城と平城』吉川弘文館

講座番号

3

発達障害のある人が抱える困難と可能性を考える
—〈だれもが生きやすい社会〉をめざして—

配信期間／11月1日～2022年2月28日

受講料／3,000円(全3回)

だれもが生きやすい共生社会の実現が叫ばれて久しい昨今、発達障害者をめぐる状況はどうなっているでしょうか。未だに、総論では「包摂」、各論では「排除」という矛盾に晒されているのではないのでしょうか。本講座では、発達障害由来の失敗、成功のエピソードを手がかりに、周囲の適切な理解と対応、本人の努力と工夫の課題について考えていきます。

回	テーマ	内容
1	〈ものづくり〉は対人過敏とひきこもりという困難を開閉する	労働場面で怒りの衝動が抑制できず、暴言・暴力になる対人過敏。全力を尽くし、疲れ果て、ひきこりに至るほどの過剰適応。発達障害者の職場における適応過程には、どのような困難が生じるのでしょうか。規則性、勤勉性に優れている一方、対人関係に脅かされている人たちの可能性を〈ものづくり〉の視座から考えます。 講師／ハローワーク札幌東精神障害者雇用トータルサポーター 山内 茜 コメンテーター／第2ひかり工房施設長 高井 賢二 コーディネーター／札幌学院大学名誉教授 二通 諭
2	支援は続くよどこまでも—自己を超えた他者共生への道	むぎのこが培ってきたこと、それは、障がいのある子もない子ども、困り感を感じる子どもと家族との出会いを通して、ひとりひとりが輝き、互いに認め合い尊重し合える未来を作り上げていくことです。〈癒された人が癒し人へ〉という循環を作り上げてきた〈むぎのこの今〉をとらえて課題に迫ります。 講師／むぎのこ卒園者・職員 岩田 梨花 コメンテーター／麦の子会理事長 北川 聡子 コーディネーター／二通 諭
3	障がい児支援の方法は職場の多様性にも生かせるか？—支援する側、される側でない関係性の中で—	療育の現場で支援者が子どもに翻弄されるのはある意味醍醐味。それが職場のチームの一員に翻弄されるとなると別の話になります。言葉を字義通り受け取り、思ったこと感じたことを配慮や〈適切な加工〉もなく表出する傾向は、時に関係のひび割れを招き、互いの心身の不調の要因にさえなります。そんな職場のリアルな悩みをとおして、発達障害の人と共に働くことの意義や課題、今後の展望について考えます。 講師／榆の会福祉部部长 金子 志 コメンテーター／榆の会総合施設長 加藤 法子 コーディネーター／二通 諭

講師紹介

二通 諭(につう さとし) 1951年2月6日札幌郡手稲町に生まれる。1974年北海道教育大学札幌分校卒業後、石狩管内小中6校で35年間の教員生活を送り、2009年から札幌学院大学教員として主に特別支援教育関連科目を担当。2019年4月より札幌学院大学名誉教授。2011年、札幌学院大学において、発達障害や精神的な困難を抱える学生の自助グループ「雑談会」を立ち上げる。著書として『映画で学ぶ特別支援教育』(2011/8/25)、『特別支援教育時代の光り輝く映画たち』(2015/8/9)がある。連載「映画に見るリハビリテーション」(医学書院:『総合リハビリテーション』)は24年293本に達している。

高井 賢二(たかい けんじ) 1962年横浜市生まれ。立教大学法学部法律学科卒業。社会福祉士。触法知的障害者入所更生施設、通動寮等の勤務を経て、北海道農業に憧れ1992年杜賢町に移住。自閉症の青年たちを雇用する農場にて10年間共働。社会福祉法人さっぽろひかり福祉会「第2ひかり工房」施設長。

山内 茜(やまうち あかね) 北星学園大学社会福祉学部卒業。社会福祉士。ジョブコーチ(職場適応援助者)。障害者就業・生活支援センター、北海道障害者職業センター、就労移行支援事業所にて障害者雇用の就労支援に携わる。2013年に北海道労働局に入職し、障害者雇用の啓発事業に従事。現在は札幌東公共職業安定所にて精神障害者雇用トータルサポーターとして勤務。

北川 聡子(きたがわ さとこ) 1983年北星学園大学社会福祉学科卒業と同時に妻の子学園を立ち上げる。2005年、アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院日本校臨床心理学研究科修士課程修了。子どもの発達支援と家族支援に関わる。社会福祉法人妻の子会理事長・総合施設長。公認心理師。保育士。共著に「子ども家庭福祉における地域包括的・継続的支援の可能性」(2020)、「子育ての村ができた! 発達支援、家族支援、共に生きるために一向き合って、寄り添って、むぎのこ37年の軌跡」(2020)がある。

岩田 梨花(いわた りか) 1歳半健診で言葉なく、人に興味を示さず、静療院(現ちくたく)を紹介され、自閉症と診断を受ける。1歳8か月でむぎのこに入園。中学校で不登校を経験し、札幌大谷大学芸術学部で幼い頃から好きだった絵を学び、2018年卒業。現在はむぎのこの職員として、生活介護事業所で絵を活かして、利用者さんの気持ちに寄り添い支援を行っている。

加藤 法子(かとう のりこ) 帯広大谷短期大学社会福祉学科卒業。保育士。介護福祉士。保育園、母子通園施設勤務を経て、1993年社会福祉法人榆の会の職員となる。障害児の療育・発達支援、重症心身障害児者の支援に携わる。榆の会総合施設長および理事。

金子 志(かねこ ゆき) 光塩短期大学保育科卒業。保育士。卒業と同時に榆の会に入職。障害児療育において、様々な支援のアイデアをもって実践し、本人のこだわりを強みに変える支援技術は秀逸。現在榆の会福祉部部长および理事。北海道サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修会の講師、ファシリテーターを務める。

講座番号

4

地域でケアする認知症～他人事から自分事へ～

配信期間／11月8日～2022年2月28日

受講料／3,000円(全3回)

現代において認知症はもはや誰もが直面する病であるといっても過言ではありません。

認知症に関わる諸制度は少しずつ整ってきていますが、当事者の権利や尊厳を守るためには充分とはいえません。市民の認知症に関する理解も進んできているとはいえ、依然として認知症は家庭内等で「隠される」問題であり、当事者が孤立することにより様々な問題に直面しています。

いま、認知症ケアでもっとも重要なのは「地域でケアする」という考え方、視点です。

本講座では、認知症の基本的な理解はもとより、認知症ケアにおいて、いま最も重要な「地域ケア」という視点について、地域で実践している認知症介護のエキスパートにお話を伺いながら考えていきます。

回	テーマ	内容
1	認知症の種類と認知症ケアを支える諸制度	一口に認知症といっても、原因や症状は様々であり、ケアの方法も変わってきます。また、昨今認知症ケアに関する諸制度は少しずつ整備されてきております。ここでは、認知症とそれに関わる制度について基本的な理解を深めます。 講師／小樽中央病院 地域医療福祉連携室長 石田 潔
2	認知症を取り巻く諸問題と認知症ケアの実際～ケア実践者へのインタビューから考える～	認知症に関する市民の理解は進んできておりますが、認知症に関連した権利侵害や虐待といった諸問題は後を絶ちません。介護に携わる家族等のいわゆる「介護疲れ」も深刻な問題です。ここでは、認知症ケアの第一線で活躍する実践者をお招きして、地域でケアする視点について考えていきます。 講師／株式会社いろはなケアサービス代表取締役 内田 香理 コーディネーター／石田 潔
3	認知症に関わる問題点の整理と認知症ケアの展望	認知症は今後も、家庭内等で「隠される」問題であり続けるのでしょうか?ここでは、第1回・第2回で理解を深めた認知症の基本的な知識と認知症を取り巻く諸問題とケアの現場の実際を整理し、今後の認知症ケアの在り方について展望します。 講師／石田 潔

講師紹介

石田 潔(いしだ きよし) 1978年生まれ。小樽中央病院地域医療福祉連携室長。社会福祉士。医療ソーシャルワーカー。札幌学院大学大学院地域社会マネジメント研究科修士課程・北星学園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。公職は(一社)北海道医療ソーシャルワーカー協会業務執行理事・おたる地域包括ビジョン協議会委員等。

内田 香理(うちだ かおり) 2006年、ホームヘルパー2級を取得しデイサービスの介護職員として介護の世界へ。その後老人ホームに入職し2年でリーダー、副主任を経て介護主任となる。認知症による不安や苦痛を抱える入居者さんの気持ちに寄り添い、日々ケアを実践。また、現場における職員の認知症の理解不足に憤り、自らが知識を得てメンバーに伝えたいという思いから、認知症ケア上級専門士資格を取得する。自身の思いと現実とにジレンマを感じ、2012年4月、(株)いろはなケアサービス設立。代表取締役に就任。

講座番号

5

外国人とやさしい日本語でコミュニケーション

配信期間／10月25日～2022年2月28日

受講料／2,000円(全2回)

近年、外国人の増加とともに、「やさしい日本語」による情報提供やコミュニケーションが注目されています。「やさしい日本語」とは、日本語に不慣れな外国人にもわかりやすい日本語のことです。外国語が話せなくても、日本語を調整することで伝えやすくなります。また、日本人同士でも言葉の聞き取りにくい人への配慮は必要です。本講座では、外国人の日本語学習のプロセスについて理解したうえで、「やさしい日本語」の話し方や文章の書き方について具体的に学びます。

回	テーマ	内容
1	「やさしい日本語」とは—基本的な考え方とコミュニケーションのコツ	・外国人はどのように日本語を学習するか ・「やさしい日本語」の始まりと広がり ・「やさしい日本語」の基本的な考え方とコミュニケーションのコツ
2	「やさしい日本語」の実際—表現・会話・文章	・生活の中での外国人とのコミュニケーション ー同じ地域や職場の仲間として ・「やさしい日本語」の表現 ・「やさしい日本語」での会話の進め方 ・「やさしい日本語」の文章への書き換え

講師／一般社団法人北海道日本語センター代表理事 二通 信子

講師紹介

二通 信子(につう のぶこ) 東京教育大学教育学部卒業、レスブリッジ大学大学院修了(教育学修士)。一般社団法人北海道日本語センター代表理事、元北海学園大学、東京大学日本語教育センター教授。著書に「留学生のための論理的な文章の書き方」、「日本語力をつける文章読本—知的探求の新書30冊」他。

講座番号

6

NISAやiDeCoで学ぶ、生涯使える投資の基礎知識

配信期間／10月25日～2022年2月28日

受講料／3,000円(全3回)

投資の基礎知識は、一度学んでおけば生涯使える知識になります。しかし、いざ投資を始めようにも、何から手を付ければ良いのか分からないことが多いし、投資＝怖いと考える方もいます。

この講座では、証券会社の口座開設方法や自分に合わせた投資スタイルの見つけ方を学ぶことから始めます。主な対象者は、これから投資を始める方や投資初心者、iDeCo やつみたて NISA に興味がある方です。

回	テーマ	内容
1	投資を始める前の知識と投資教育の変化	自分が受け止められるリスクの大きさと、ライフプランに合わせた投資スタイルを見つける方法を学びます。続けて、株式・債券・投資信託の基本的な特徴を学びます。次世代への投資教育の変化についても触れます。
2	つみたて NISA の仕組みと活用方法	つみたて NISA は資産形成のスタートに相応しい制度です。第1回目の内容を実際に活用しながら、つみたて NISA の仕組みと投資信託の分類、証券口座の作り方を解説します。
3	確定拠出年金(DC)の仕組みと活用方法	第1回目と2回目で学んだことを、さらに広げながら投資の解説をします。DC は、商品選びができるようになると10倍面白くなります。DC とつみたて NISA ・NISA の使い分けにも触れます。

講師／札幌学院大学非常勤講師 CFP® 中谷 俊雄

講師紹介

中谷 俊雄(なかたに としお) 1973年生まれ。札幌学院大学大学院修士課程修了。不動産業界を経て2001年からFP業に従事。お金に関する講座を開催するほか、相続や不動産の管理・処分などライフプラン全般に関わる相談に応じている。CFP®、1級FP技能士、宅地建物取引士。著書「ズバリわかる!FP技能検定3級」(ナツメ社)他。札幌学院大学非常勤講師。



Zoom オンライン講座

※この講座はZoomウェビナーを使用して実施します(受講者側のお名前や映像、音声は配信されません)
メールアドレスの登録が必須となりますので、お申込みはインターネットのみでの受付となります。

講座番号

7

震災復興と地域づくり —子どもに焦点をあてた「未来づくり」の試み—

受講料／無料(全2回)

胆振東部地震から3年が経ち、子どもを軸に「創造的復興」に取り組んでいる町があります。ユニセフの「こどもにやさしいまちづくり」のモデルに指定されている安平町です。安平町では、Uターン、Iターンの新しい担い手が復興のキーマンとして東奔西走しています。本講座では、子どもたちとともにまちの「未来づくり」に取り組む当事者の語りから、これからの北海道の地域づくりと子どもたちを考える契機になれば幸いです。

回	テーマ／日程	内 容
1	「子どもたちと伴走する」 新住民として暮らし・働く 11月27日(土) 午前 9:10~10:10	胆振東部地震の年から暮らし始めた安平町。今までは子どもの拠点となるところに身を置きながら子どもの育ちや地域とのつながりを育んできました。この4月から、拠点を移動し、地域のNPO法人の一員として、これまでの立場と違った視点で子どもや地域との関わりを持ちながら、地域に貢献していこう…そう決意し動き出している今をお伝えします。 講師／NPO法人ボラーナ 小瀧 綾 コーディネーター／札幌学院大学人文学部准教授 井上 大樹
2	震災からの復興と「こどもにやさしいまちづくり」 12月11日(土) 午前 9:10~10:10	平成30年北海道胆振東部地震により大きな被害を受けた安平町ですが、震災前より取り組んでいた教育 / 子育てを中心に子どもを主体にしたまちづくりが復興への大きな軸となりました。安平町の未来は教育がつくる、教育でつくります。 講師／学校法人リズム学園 学園長 井内 聖 コーディネーター／井上 大樹

講師紹介

井上 大樹(いのうえ ひろき) 1976年生まれ。専門は教育学、保育学。社会教育主事(社会教育士)課程担当。住民主体の地域再生の視点から地域教育・子育て支援の改善のための「大人の学び」について研究。また、地域再生につながる社会教育、特に子ども支援について震災復興からの事例研究から「大人の学び」のコーディネートに「子どもの権利」など新しい視点の必要性について提唱している。

小瀧 綾(こたき あや) 1980年生まれ。順天堂大学スポーツ健康科学部卒業。自然体験活動・馬とのふれあい活動等を行うNPO法人ボラーナ設立に加わる。大学時代に立ち上げたNPO法人で地域活動等を行い生計を立てる。その後、幼児体育・スポーツ指導・自然体験施設等様々な職業を経て現在に至る。関東で育ち、活動を展開しながら、3年前に北海道安平町に移住。3年間、幼児施設に勤務後、馬と森と地域の生活に生きがいを持ち、友人とNPO法人を町内に立ち上げ、現在活動中。震災後の現在、大きな動きを始めている安平町の中で自分たちの背丈にあった、人と地域と自然をリンクさせた活動づくりと、場づくりを構築中。

井内 聖(いうち せい) 1973年生まれ。北海学園大学経済学部経営学科卒業。学校法人リズム学園学園長。大学卒業後、公立中学校教員を経て幼児教育へ転身、複数の幼稚園・保育園・こども園の園長を歴任。平成30年北海道胆振東部地震では震災2日後から応急保育として園を再開、安平町災害ボランティアセンター副センター長、安平町総合教育専門員として震災復旧と復興に取り組む。北海道文教大学非常勤講師、北海道大学大学院教育学研究院乳幼児発達論研究室在籍。

講座番号7 震災復興と地域づくり 受講方法

この講座は zoom ウェビナーを使用して、講義「地域貢献 C」の一部を生配信します。

お申込の際登録いただいたメールアドレス宛に、講座日の3日前までに本学 (@ims.sgu.ac.jp) より「Zoom 招待メール」をお送りします。

講座配信日時になりましたら、メール文中の「ここをクリックして参加」から Zoom にアクセスしてください。

「Zoom Meetings を開きますか?」の画面が表示されますので「Zoom ミーティングを開く」をクリックしてください。配信前ですと「ホストが本ウェビナーを開始するまでお待ちください。」の画面が表示されます。配信が始まりますと自動で配信映像に切り替わります。

お送りするメールは講座受講に必要な URL 等が記載された招待メールですので、なくさないよう保管してください。もし「受講日の前日午後3時(土日祝日・大学の定める休日を除く)」までに「Zoom 招待メール」が届いていないようでしたら至急、札幌学院大学社会連携センターまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

本学 (@ims.sgu.ac.jp) からのメールを受信できるよう事前に設定等をお願い申し上げます。

本講座を受講するには Zoom (受講システム) のアプリケーションをインストールする必要があります。

初めて Zoom を利用される場合は画面案内に従いアプリをダウンロードしてください。

PC ご利用の方

<https://zoom.us/download> より、「ミーティング用 Zoom クライアント」をダウンロードおよびインストールを実行してください。

スマホ / タブレットご利用の方

ご利用の OS にあわせ、以下よりアプリをインストールしてください。

(iOS) <https://apps.apple.com/us/app/id546505307>

(Android) <https://play.google.com/store/apps/details?id=us.zoom.videomeetings>

視聴環境の確認を事前にされたい場合は、<http://zoom.us/test> にアクセスし、メニューに沿って (Zoom ミーティングを開く、参加する) 進んでいくと、Zoom ミーティングのソフトウェアが起動し音楽が流れます。

講座視聴にはカメラやマイクは不要です。テストメニューで音楽がお聞きいただけましたらテストは終了です。そのまま画面をクローズしてください。尚、講座視聴には Zoom アカウントは不要です。画面クローズの際、アカウント登録を求められる表示がされる事がございますが、そのまま画面をクローズいただいで結構です。

※注意事項

第三者との ID・パスワードの共有や貸与、SNS を含む他の媒体への転載、また、講座で配布した資料を受講目的以外で使用することは、不法行為や著作権の侵害になりますので固くお断りいたします。講座の録音、写真撮影、動画撮影、画面の録画は固くお断りいたします。講座を受講するにあたり、自己の費用と責任で必要となるパソコンなどの情報端末、インターネット回線、その他設備を用意するものとします。利用者のインターネット回線の状況、情報端末の環境、その他予期せぬ理由により、コンテンツの中断、速度低下、障害、停止もしくは視聴不可などの事態が発生した場合、これによって利用者に生じた損害について本学は一切責任を負いません。

申込方法

メールアドレスの登録が必要です。
必ずインターネットからお申込みください。
<https://www.sgu.ac.jp/rcc/>

申込期限

11月20日(土)

お申し込みから受講までの流れ

①【申込期間】

9月14日(火)～9月28日(火)必着

※講座番号7「震災復興と地域づくり」9月14日(火)～11月20日(土)

②【申込方法】 ※講座番号7「震災復興と地域づくり」はメールアドレスの登録が必要となるため、インターネットでの申込みのみ

①インターネット ②FAX ③ハガキでのいずれかになります。※電話によるお申込みはできません。

①インターネットの場合 …… <https://www.sgu.ac.jp/rcc>

②FAXの場合 …………… FAX番号:011-807-0373

③ハガキの場合 …………… あて先:〒004-8666 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」宛

③【結果通知】

10月4日(月)以降に申込者全員に封書で通知いたします。

※「受講確定通知書」と「受講料の振込用紙」をお送りいたします。

※講座番号7「震災復興と地域づくり」については、講座日の3日前までに結果通知にかえて「Zoom招待メール」をお送りします。受講確定通知書には記載致しません。

※10月8(金)までに受講に関する通知が届かない場合は、お問い合わせください。

④【受講料の支払方法・受講確定】

受講料は、「受講確定通知書」に記載された金額をゆうちょ銀行または北洋銀行の口座にお振込みください。

お振込みが確認できた方へ、講座視聴のIDとパスワードをお送りいたします。

受講料の振込みによって正式に受講確定とさせていただきます。振込みが確認できない場合は受講できませんので、指定された期日までに必ずお振込みください。領収書の発行は原則行っておりません。お振込時の明細書を大切に保管してください。

⑤【受講上の注意】

受講料振込の確認ができた方へ、講座視聴のためのID・パスワードをお送りいたします。ID・パスワードは、第3者へ譲渡、貸与しないでください。

動画を録画・撮影・録音することはしないでください。

講座資料がある場合はサイトに添付します。講座視聴以外の目的には使用しないでください。

講座を受講するにあたり、自己の費用と責任で必要となるパーソナルコンピューターやスマートフォンなどの情報端末、インターネット回線、その他設備を用意するものとします。利用者のインターネット回線の状況、情報端末の環境、その他予期せぬ理由により、コンテンツの中断、速度低下、障害、停止もしくは視聴不可などの事態が発生した場合、これによって利用者が生じた損害について本学は一切責任を負いません。

講座視聴ページ「コミュニティ・カレッジ オンデマンド講座」
https://www.sgu.ac.jp/renkei_c/online-seminar.html



【キャンセルに関して】

原則としてキャンセルはできません。ただし、やむを得ない事情によりキャンセルを希望する場合は、「受講確定通知書」に記載された受講料支払期限までに必ずご連絡ください。【TEL:(代表)011-386-8111 社会連携センター】までご連絡ください。お支払いいただいた受講料は、返金できかねますのでご了承ください。

お申し込み前に必ずお読み下さい。 ●受付時間/9時～17時(月～金)

- お申込者以外の方は受講できません。
- 本学「コミュニティ・カレッジ」の講座は、「道民カレッジ」及び「えべつ市民カレッジ」と連携しております。
- 道民カレッジ、えべつ市民カレッジの単位認定希望の方へは、単位シールをお送りいたします。視聴した旨を社会連携センターまでご連絡ください。
- 受講生は自動的に「コミュニティ・カレッジ」の会員として登録されます。
- 都合により担当講師が変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 札幌学院大学(その前身の札幌文科専門学院、札幌短期大学、札幌商科大学を含む)の在学学生、同窓生ご本人と、在学学生の保護者の方々は、受講料特別割引制度があります。その旨、お申込み時に明示してください。お申込み時に明示なき場合は、割引制度をご利用いただけません。〔外国語講座は2割引、それ以外の講座は5割引で受講できます。〕
- ご提供いただきました個人情報は、今後の講座や札幌学院大学のイベント等をご案内する目的以外には使用いたしません。

お申し込み方法

1. ハガキ・FAXによるお申込みは、◎に示す項目を記載のうえ、下記あて先にお送りください。

あて先 [ハガキ] 〒004-8666 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1
札幌学院大学社会連携センター「コミュニティ・カレッジ」宛
[FAX] FAX番号 011-807-0373

◎ハガキ・FAX用紙に記載する事項は下記のすべての項目です。なお、記入漏れなどがあると受付処理等ができませんので、ご注意ください。お間違えのないようご記入願います。

〈はがき用切り取り線〉

講座番号	講座名 (※複数記入可)		
フリガナ			
氏名			
〒	-	電話番号	()
住所			
年齢	歳	職業	
コミュニティ・カレッジを受講したことがありますか		はい or いいえ	
同窓生本人	卒業年()年()学部	旧姓()	
在学学生の保護者	在学学生氏名	()学部	年
在学学生本人	学籍番号()		
コミュニティ・カレッジ講座を何で知りましたか? (○をつけてください)			
①本学の案内 ②区役所、区民センター ③図書館 ④道民カレッジ			
⑤友人・知人 ⑥インターネット(具体的に:)			
⑦その他()			

講座番号7「震災復興と地域づくり」はメールアドレスの登録が必要となりますので、インターネットからお申込みください。

2. インターネットによるお申込みはこちらから。 <https://www.sgu.ac.jp/rcc/>

札幌学院大学大学院(修士課程)のご案内

大学院においては、専門領域の高度な学識と技能を身につけることを通して、専門職業人として社会の先端で活躍できる人間の育成を目指しています。

地域社会 マネジメント 研究科	夜間・土曜授業などの働きながら学べる環境を有し、地域社会の諸課題を研究対象とし、地域・まちづくり系分野、地域・経営・経済分野及び地域会計分野等のそれぞれの分野でスペシャリストとして活躍し得る人材養成を目的としています。CFP [®] 受験資格を得ることも可能です。
法学研究科	法学や政治学を中心に隣接諸科学の研究成果を総合して、鋭い人権感覚と豊かな国際感覚を備えた、地域社会に貢献できる人材及び高度な専門知識と能力を備えた専門的職業人を養成することを目的としています。税理士資格とCFP [®] 受験資格の取得もサポートしています。 なお、大学卒業を前提としない「出願資格審査」による修士課程の入学も可能です。
臨床心理学 研究科	臨床心理学を中心に心理臨床に関連する諸分野との連携を得ながら、様々な心の問題を心理臨床の視点から取り上げ、公認心理師及び臨床心理士という専門的職業人を養成することを目的としています。道内初の臨床心理士資格認定協会一種認定校としての実績を有しています。

●法学研究科 〒069-8555 北海道江別市文京台11番地

●地域社会マネジメント研究科・臨床心理学研究科(2022年度より) 〒004-8666 北海道札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

大学院の他、社会人が大学で学ぶ制度として、編入学試験制度、社会人入学試験制度、科目等履修生制度、聴講生制度、研究生制度等があります。詳細についてはお問い合わせください。

TEL.011-386-8111(代) <https://www.sgu.ac.jp>

ご寄付のお願い

2021年度 新札幌キャンパスが誕生しました

札幌学院大学は2016年に学園創立70周年、2018年には大学開学50周年を迎えました。2021年には地域との連携をコンセプトにする新札幌キャンパスを開設し、教育事業の一層の充実を目指しております。今般、教育振興に係る寄付金の募集を広く市民の皆さまにもお願い致しております。

22年を迎える本学のコミュニティカレッジ事業につきましても、市民の皆さまの生涯学習ニーズに応えられるように、一層の充実を図ってまいります。

コミュニティ・カレッジの受講料の還付としてご利用できます

寄付金額に応じて、ポイントによる特典を差し上げております。ポイントは寄付を頂いた月から2年間有効です。コミュニティカレッジの受講料の還付に利用する場合は、5ポイントにつき1,000円分が対象となります。具体的には次のとおりです。

例)

寄付金額	寄付ポイント	コミュニティ・カレッジ受講料還付額
5,000円	5ポイント	1,000円分
10,000円	10ポイント	2,000円分
30,000円	30ポイント	6,000円分

この他にも大学オリジナルグッズ等にポイントを利用することができます。

また、税制上の優遇措置が受けられる場合もあります。寄付についての詳細は、「札幌学院大学教育振興寄付のお願い」(リーフレット)または、大学ウェブサイト(札幌学院大学教育振興寄付のご案内)<https://www.sgu.ac.jp/information/donation/>をご覧ください。

コミュニティ・カレッジのお問い合わせ先

札幌学院大学社会連携センター

〒004-8666札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1

ホームページ https://www.sgu.ac.jp/renkei_c/ E-mail: sharen@ims.sgu.ac.jp

TEL 011-386-8111(代表) FAX 011-807-0373

受付時間/9:00~17:00(月~金)

